

## 共 通 事 項

<p><b>調合について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 混和液を混合してから粉体を徐々に加えて下さい。</li> <li>・ 粘度調整する場合は粉体の量を減らして下さい。</li> <li>・ 粉体を減らすことは問題ありませんが、<b>粉体・水の増加は性能の低下</b>につながります。</li> </ul>
<p><b>ローラー刷毛について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粉体を2～3割減らすとローラー刷毛で塗布できます。</li> <li>・ ローラー刷毛推奨品 重防ローラー（大塚刷毛製造製）繊維断面が円形で凹凸がないため、粉体のはき出しが良い。</li> </ul>
<p><b>施工上の注意点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下地は十分な清掃を行って下さい。</li> <li>・ 粉体調合がシゴキ用のため、厚付けができません。塗り厚 0.5mm が標準です。厚塗りするとひび割れが発生します。</li> <li>・ 厚付けや水勾配を調整したい場合は、レジアンダー厚付速硬化粉体（1～50mm）や、レジアンダー不陸調整粉体（1～5mm）を使用してください。</li> <li>・ 残存する下地が溶剤に弱い材質の場合、溶剤系プライマーの使用は厳禁です。レジアンダーは<b>溶剤に強いが溶剤は透過</b>します。溶剤系プライマーを使用すると下地の溶解で剥離する危険性があります。</li> </ul>
<p><b>養生について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下地が乾燥した状態で薄塗りした場合は、短時間で乾燥しますが、<b>下地に吸水性がない場合や厚く塗った場合は乾燥が遅くなります</b>。気温・風速・日射等自然環境により乾燥時間は異なります。</li> <li>・ 下地が<b>高湿潤状態でも確実に接着</b>しますが、<b>乾燥までに長い時間</b>がかかる場合があります。</li> </ul>
<p><b>対応できない下地</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>フッ素系トップコート、塩ビシート、ゴム（EPDM）シート、油面等</b> 確認できていないものもあります。</li> <li>・ 既存のアスファルトが残存し、新規防水がトーチ工法の場合。レジアンダーをトーチであればると、下のアスファルトからガスが発生し、レジアンダーが部分的に剥離してしまいます。</li> <li>・ ウレタン系塗り床材・防水材・塗料・接着剤は接着良好ですが、ウレタン系シーリング材は若干付着力が落ちます。</li> <li>・ ゴム（EPDM）シートやシルバートップは「ゴムエースP」で対応できます。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この他にも具体的な製品についての知見もあります。</li> <li>・ ご不明な点がございましたら当社までご連絡下さい。</li> <li>・ データのないものでも、被着体をご提供いただければ、当社は積極的に接着試験を行います。</li> </ul>